

兵道けんじニュース

ホームページもご覧ください

<https://www.ken2000.com>

発行者 公明党甲府市議会議員

兵道顕司

2025.12

甲府市中村町 15-6

VOL. 39

TEL/FAX 055-237-9529

本年度2回目となる代表質問に登壇しました。

議会が討議空間であり、議長時代に基本条例で議員同士の議論を制度上位置付けたものの、やはり一人ひとりの議員力が求められます。

議会改革を声高に叫んでも、市民の役に立っているか、市民福祉の向上に寄与しているかが問われます。

今回も市政の課題について4点質問しました。詳細は別途ページに譲りますが、市議会の議論で質という観点から、さらに研究を進めてまいります。



※ これまでの本会議での質問動画 → [甲府市議会インターネット中継](https://kofu-city.stream.jfit.co.jp/?tpl=speaker_result&speaker_id=58)
(https://kofu-city.stream.jfit.co.jp/?tpl=speaker_result&speaker_id=58)

1 代表質問の主な状況

(1) HPVワクチンについて

- ①有用なHPVワクチンの接種率を上げるため、重要と印字した封筒を使用した対象者への個別通知について
- ②男性への接種推進のための助成制度について
提案しました。
→これに対して、封筒の仕様も工夫した個別通知の導入を図ること、男性への接種については国の動向も注視して行くことが答弁されました。

(2) 甲府への人の流れをつくることについて

- ①若者の回帰の取組みについて、特に就学金の返還支援について
- ②女性に選ばれるために、男女共同参画にどう取り組むのか
- ③甲府のまちの魅力を高めるためのまちなか回遊の取組みについて
→若者の地元定着・回帰を促す取組みの継続と生活基盤となる「仕事」をはじめとする各種取組みを深化・充実させる。
奨学金返還支援については山梨県の制度の動向を注視するとともに、地元企業などとも連携して人の流れの創出につなげていく

性別に関わりなく、誰もが個性と能力を十分に発揮することのできる男女共同参画社会の実現に向け、女性が自分らしく活躍でき、女性に選ばれるまちの実現に向けた取組を推進していく

まちなかがより一層幸せで豊かな暮らしを実感できる空間となるよう取組を行う。特に飲食店等で無料で借りられるリユースタンブラーを利用しておいしい水を提供する取組を行う。

また徒歩以上自動車未満の移動手段の検討など、より一層魅力あるまちなかの発展と充実を目指す。

※まちなか回遊の発想は、かつてのスローライフの考え方からヒントをいただいたものです。

歩くことによる新たな出会いと交流、見落としがちな資源の発見など、立ち止まって町を振り返る、というスローライフがコロナ後のライフスタイルとして注目されると考えます。

(3) 動物愛護の取組について

これまでの取組と今後の展開について伺いました。

→地元自治会と共同で行うTNR活動

クラウドファンディングを活用した不妊・去勢手術費用の助成及び譲渡ボランティアの方々への支援

小さな命を新しい家族に

つなぐ譲渡会の開催

企業版ふるさと納税でいただいたコンテナハウスを活用し、獣医師による保護した猫の簡易な治療等を行うことで、譲渡につながりやすい環境づくりに積極的に取り組んでいる。



(4) 思いやりあふれる社会の実現について

人権尊重の施策について伺いました。

→人権擁護委員と連携し、人権週間等における街頭啓発や各種イベントにおける周知・啓発に加え、児童・生徒を対象とした人権の花運動や 人権教室の開催、さらに、人権啓発パネル展や映画会のほか、多様な性の理解促進に向けた講演会やメッセージ展を開催するなど、周知・啓発を行っている